

有害プランクトン注意報

(R2 No. 2 - ①)

令和2年 12月 4日
千葉県水産総合研究センター

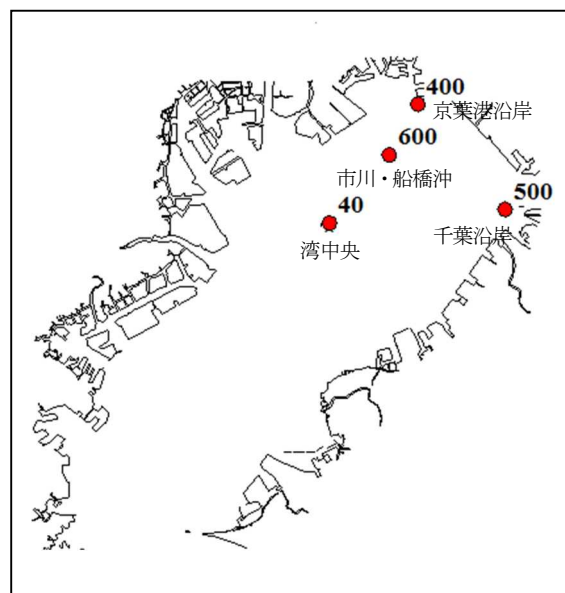
東京湾内湾でカレニア ミキモトイ(*Karenia mikimotoi*)が、注意を必要とする基準を超える密度で確認されました。

令和2年12月1～3日に水質保全課が行った調査において、内湾の船橋～千葉沖にかけて *Karenia mikimotoi* (カレニア属) が確認されました。

京葉港沿岸、市川・船橋沖、千葉沿岸では400細胞/mL以上の高密度です。今後、他の海域でも増加する可能性が考えられるので、養殖魚・蓄養魚の管理には十分注意してください。

- ・ 確認日 令和2年12月1～3日
- ・ 確認海域 東京湾内湾
- ・ プランクトンの種類 カレニア ミキモトイ

注意基準を超えた調査地点	プランクトン密度(細胞数/mL 程度)
京葉港沿岸	400
市川・船橋沖	600
千葉沿岸	500
湾中央	40
注意基準密度	100 (細胞数/mL)
警戒基準密度	1000 (細胞数/mL)



水質保全課調査 (細胞数/mL 程度)

- 1 本種は西日本に広く分布する小型のプランクトン (20～40 μ m) で、海水1 mLあたり数千細胞を超えると魚介類のへい死を引き起こす危険性があります。アサリへの死亡例はありませんが、赤潮状態の場合は夜間酸欠になります。人に被害を及ぼす貝毒の原因プランクトンではありません。
- 2 海況の変化や魚の動きに十分注意し、必要に応じて餌止め等、早めの対応をお願いします。
- 3 赤潮等、海域の異変を発見した場合は水産総合研究センター、漁業資源課又は水産事務所に連絡してください。

担当 千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
電話 0439-65-3071
FAX 0439-65-3072